



立山砂防事務所では、立山カルデラを中心とした常願寺川流域での砂防施設の整備を進めるとともに、流域の防災力向上を図り、災害に強いまちづくりに資することを目的に、体験学習会や防災訓練への参加など、防災学習の取り組みを進めています。

本年度は、立山町立立山北部小学校の6年生を対象として、業界団体と連携した防災学習が実践されました。

◎出前講座：令和4年7月21日（第1回）、令和4年10月27日（第2回）

◎講演会での学習発表：令和5年2月9日

学校

立山砂防

出前講座

地域を守る立山砂防の学習として6年生を対象とした出前講座（第1回：砂防授業、第2回：土砂災害実験）が開かれました。

身近な常願寺川と砂防のことを学んでいこう！



令和4年7月21日（第1回）

第1回講座では、常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割などを勉強し、観光地としての立山には防災事業が行われている地としてのもう一つの側面があることを理解していただきました。

主催：斜面防災対策技術協会富山支部 支援：立山砂防事務所

砂防堰堤って必要なんだ！



土石流の実験土砂↑災害ミニ模型↓

令和4年10月27日（第2回）

第2回講座は、土砂災害・砂防施設の模型や実験を行いました。この体験を通して、土石流災害の仕組みや砂防堰堤の効果について児童たちの理解をより深めることができました。

主催：斜面防災対策技術協会富山支部 支援：立山砂防事務所

※詳しくは立山砂防事務所ホームページの『令和4年度トピック』

Vol.12(7/21「立山北部小学校」で出前講座！)

Vol.22(10/27「立山北部小学校」で出前講座！「土砂災害の実験を体験」をご覧ください。

学校

業界団体

講演会での学習発表 令和5年2月9日

『ありがとう 立山砂防』

6年生が『出前講座』と『子供防災教室』で学んだことをまとめ、斜面防災対策技術講演会*で学習発表を行いました。学習の中で感じたことや素朴な疑問をクイズとして出題するなど、工夫がたっぷりされたユーモアのある発表に、参加者も新鮮な思いで耳を傾けていました。

また、講演会では基調講演として（一社）全国治水砂防協会から大野宏之理事長をお招きし、『大規模土砂災害に備えて』というテーマで災害の事例や災害発生時の国の支援・連携、今後の施策などについてご講演いただきました。

学習発表



立山砂防に関する学習発表の様子

※[令和5年 斜面防災対策技術講演会(第37回)]主催/(一社)斜面防災対策技術協会富山支部 富山県治水砂防協会 NPO法人富山県砂防ボランティア協会



立山カルデラ見学会の様子 (令和4年8月30日)



富山平野を守る砂防について学びました